

子ども会新聞

第217号

冬号

2022年12月20日

題字 山中 睦夫 氏

子どもの笑顔と
生きる力を育てる



発行責任者：特定非営利活動法人 東京都子ども会連合会 理事長 齋藤 武

〒112-0012 東京都文京区大塚6-1-14 全国子ども会ビル4階

TEL：03-3946-2340 FAX：03-3946-2341

HP：https://www.kodomo-kai.or.jp/tokyo

E-mail：tokoren@galaxy.ocn.ne.jp



新年あけましておめでとうございます



特定非営利活動法人
東京都子ども会連合会
理事長 齋藤 武

新年に当たり一言ご挨拶申し上げます。

令和2年の春頃から新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）拡大防止のために、東京都子ども会連合会（以下都子連）にご加入の各子ども会の皆様にはおかれましては、多大なご苦労やご心配が続いていることと思います。

このような中、都子連の事業や各地区の子ども会活動にご理解、ご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。現状ではコロナの収束の兆しがみえないために、今後の子ども会活動も従来の活動をそのまま展開することは未だ難しい状況です。

しかし、子ども会活動は子どもの成長に大切な役割を担っており、各子ども会におかれましては各地域の状況を考慮してし可能な範囲で子ども会活動が出来ます様にご対応をお願い

いたします。

コロナにより子ども会活動が困難であることに加えて、社会環境・状況や保護者や子ども達の考え方の変化に伴い、子ども会にも変化が生じ、いろいろな課題が取り上げられています。特に、大きな課題は会員の減少です。全国的にも、又、都子連に所属する区市町子連でも会員の減少が続いています。このままで推移すると子ども会の存続が困難になってしまいます。

そこで、全国子ども会連合会では昨年10月18日、国会議員の先生方により「子どもの体験活動による成長・子育て支援を推進する議員連盟」が28名の発起人を中心に設立され、子ども会が今後新たなページが期待されます。

子ども会活動の基本は、子ども会活動を難しく義務だと考えないで、今の役員さんで出来る事を皆で協力して楽しく子ども会活動を行うことだと思います。そのために今後も理事の皆さんと事務局が一体となって、少しでも皆様のお役に立てる様にしていきます。皆様のご理解とご協力、ご支援をお願いいたします。

2023年が皆様にとって平安でご多幸な年となりますよう祈念いたします。

子ども会にとって歴史的一日となりました！



全国子ども会連合会会長
美田耕一郎

令和4年10月18日に「子どもの体験活動による成長・子育てを支援・推進する議員連盟」が発足されました。

発起人代表の衆議院議員遠藤利明先生が会長に就任され、総

会の司会を務められた衆議院議員今枝宗一郎先生が事務局長に就任されました。

現在28名の先生方が本議連に賛同いただき、当日は12名の先生方にご出席いただき文部科学省からも藤江陽子総合教育政策局長はじめ6名の職員の方がご出席くださいました。子ども会関係者も、全国から115名の方が参加されました。

設立趣意書より「全国子ども会連合会」は、昭和39年に発足し1980年代には800万人を超え、半世紀以上にわたり、子どもの体験活動を通じて地域に貢献してきました。

生まれて初めて属する自治組織である子ども会は、社会の

一員としての入り口であり、ゼロ歳から100歳までが属している日本最大の異年齢自治組織でもあります。

これまで、市町村の教育委員会等に所属する社会教育主事存在により、会勢は維持されてきました。しかし近年の大規模市町村合併や、行政改革に伴う社会教育主事の減員もあり、令和2年度末には会員数が275万人まで減少しました。子ども会の存続は危機的状態にあり、このままでは子どもにとって大切な体験活動の機会が消滅します。

この状況を打破し、子どもの体験活動の場であり、かつ異年齢集団による地域活動である子ども会を活性化させ、日本中の子どもたちの真の成長としあわせを追求する事を通じ、子どもの成長と子育て支援の環境整備を、支援・推進していきます。総会に参加された議員からは、子ども会に対する期待も大きく、従来にも倍して「子ども会活動」を活性化し、社会教育、地域の発展に尽力する力強い発言があり、今後の議員連盟の活動が期待されます。（都子連理事長 齋藤）

令和4年度第51回東京都子ども会育成研究協議会が開催されました

2022年度(令和4年)の第51回東京都子ども会育成研究協議会は、本来ですと足立区で開催の予定でしたが諸般の事情によりここ日本教育会館で開催することとなりました。

当日は、ご来賓に東京都生活文化スポーツ局若年支援担当部長米今俊様をお迎えして開会され、冒頭に永年子ども会活動を支えて下さいました各地区の物故者の皆様に黙とうを捧げ、引き続き各地区に於いて、子ども会発展にご尽力されました子ども会並びに個人の皆様に表彰状と記念品を差し上げ永年のご苦勞に感謝申し上げます。

さて、子どもたちは新型コロナ感染症対策により、外に出て体を動かさない、人と接触しないことが普通になり、学校や社会においてもこれまで当たり前にしてきた活動が制限されています。

そうした状況の中で『with/after コロナにおける子ども会活動の在り方』～子どもたちとともに作る持続可能な地域社会～と題して、東洋大学様の全面的ご支援を頂き小瀬博之先生

の基調講演で学ばせていただきました。

また、午後からは昨今、心や人との繋がりが希薄になっており、音楽を通して親子の絆を深めて

もらうために、音楽の絵本『手袋を買いに』&ピトレ弦楽奏団による『この音何の音?』を都子連としては初めて年齢制限を設けずに開催し一緒に感じて楽しみました。

会場(一ツ橋ホール)を無償提供していただきました全国子ども会連合会様には心より感謝申し上げますと共に、今回参加されました会員の皆様をはじめ、関係団体の皆様や企画から当日の運営までご尽力下さいました皆様に感謝申し上げます。



基調講演レポート

基調講演を聴講して感じたこと

第51回 東京都子ども会育成研究協議会が令和4年11月6日(日)に日本教育会館(神保町)で開催され、その基調講演に東洋大学 教授の小瀬博之先生が登場されました。講演テーマ『with/after コロナにおける子ども会活動の在り方』はコロナ第七波から第八波を迎える子ども会活動関係者においてはとても重要な内容でした。小瀬先生の口調はとても穏やかで大学教授でありながら幼児や児童、生徒にも好まれると単純に感じました。

講演の詳細は、小瀬先生が現在ご在住でメインの職場でもある東洋大学キャンパスがある埼玉県川越市でのフィールドワーク体験が主となっていました。小江戸と呼ばれる川越は豊かな自然が数多く残されています。その自然環境を維持保全する活動に子どもの参加を常に意識すると共に、持続可能な開発目標【SDGs】を活動に生かすという考え方はとても素晴らしいと思いました。私が住む八王子市も川越市と同じく自然豊かなところです。多くの事を参考にさせて頂き、八王子市の活動に活かしたい。(広報部 大久保雄一)

ファミリーコンサート 一ツ橋ホール 14:00~14:15

ファミリーコンサートを終えて

令和4年11月6日(日)一ツ橋ホールで開催されたコンサートは、親子で楽しめるものでした。弦楽五重奏の生演奏は、子供たちにとって、とても興味深いものとなりました。



バイオリン、ピオラ、チェロ、コントラバスと楽器が大きくなるほど音程は低くなることを知ることができました。

また、この音なんの音を三択で当てる場面では、耳をそばだてていてもわからなかったのに、きちんと当てた小学生には、驚きました。

音楽の絵本「手袋を買いに」も皆真剣に聞いていて、楽しんでもらいました。最後は、聞き慣れた秋の歌のメドレーを演奏され、アンコールにも応えてくれ、音楽の世界に引き込まれたひとときでした。(広報部 佐々木)

～当日の感想～

♪いろんなひき方があって楽しかったです。音楽の絵本を始めて体験しました。面白かったです。(江戸川区3年)

- ♪音がたかくなったり、低くなったりしてすごかった。生で聞いたのは初めてでびっくりしました。(三鷹市3年)
- ♪クイズが楽しかったです。(三鷹市1年)
- ♪とても感動しました。また聞きたいです。(町田市2年)
- ♪音楽が楽しかったです。生演奏すてきでした。「てぶくろを買いに」の演奏も楽しかった。(江戸川区1年)
- ♪知らない楽器の音が聞けて良かった。(小金井市1年)
- ♪バイオリンを聞くのは初めて。楽しかったです。(三鷹市1年)
- ♪この音なんの音で、さくらこさんの救急車の音がリアルですごくいいと思いました。(江戸川区2年)
- ♪コントラバス寄りに座ったので大きく低い音に興味しんしんでした。優しい音色に親子で癒やされました。ありがとうございました。(昭島市2年保護者)
- ♪ピトレ管弦楽団のファンになりました。子供に本物の芸術を見せてあげられる良い機会でしたありがとうございました。(江戸川区1年保護者)



おめでとうございます！ 令和4年度表彰 Congratulations!

公益社団法人 全国子ども会連合会

指導者・育成者



足立区少年団体連絡協議会：日高佐和子様が10月29日全国子ども会連合会表彰を受賞されました。

東京都健全育成成功労者表彰



江東区少年団体連絡協議会：齊藤陽一様が11月17日東京都健全育成成功労者賞を受賞されました。

江戸川区子ども会連合会：須賀佐代子様(当日欠席)
子ども会…わかば子ども会様(足立区)
ジュニア・リーダー組織…新田ジュニアクラブ様(足立区)
育成会…わかば子ども会後援会様(足立区)



特定非営利活動法人 東京都子ども会連合

11月6日東京都育成研究協議会で受賞されました。

子ども会 西新井本町2丁目子ども会

指導者・育成者

大関 英広様(足立区) 中村 清代様(足立区)
大久保美千子様(小金井市) 平川裕美子様(小金井市)
吉野 文絵様(江戸川区)

第51回全国子ども会育成中央会議・研究大会が開催される



令和4年10月29日(土)～31日(月)長野県長野市芸術館・生涯学習センターT O i GO・ホテル国際21で開催され、全国から439名(内：団体表彰34団体、個人表彰67名)が参加さ

れ、東京都子ども会連合会から7名参加しました。困がもたらす多様な自然体験・生活体験の欠如④地域のSDGsを担う、未来を変える人づくりを分かりやすくお話しされました。

新型コロナウイルス感染症の影響で3年振りの大会、この間河本功(静岡県選出)前会長様から美田耕一郎会長様(鳥取県選出)に変わり会長挨拶で始まり、ご来賓に長岡桂子文部科学大臣様・阿部守一長野県知事様・荻原健司様長野市長(何れの方も代理者挨拶)の祝辞がありました。

開会式後に永年各地区でご活躍された子ども会関係者の表彰式が行われ、東京都子ども会連合会からは、足立区：日高佐和子様、江戸川区：須賀佐代子様が表彰されました。

その後記念講演が開催され「SDGsと子どもたちの未来」と題して中島恵理様(信州大学経法学部特任教授・元長野県副知事)からのお話がありました。

①SDGsを実現するための教育：ESDとは②自然体験と子供の自己肯定感③子どもの貧



こども会の活動とSDGs

子供たちにとって身近な地域でかけがえのない、自然体験、学習体験、生活体験

この積み重ねが、こどもたちの自己肯定感を高め、探求力・社会課題解決能力を高める

ESDが目指す「未来を変える人づくり」「持続可能な未来にむけて社会変革を起こす人づくり」

こども育成会の意義

①地域における様々な場での、多様な体験ができるこども育成会
②家庭が困難による、こどもの多様な困難を解決、生活支援を促す、など

10月30日には、①分散会があり、テーマ1：デジタル化された子どもたちの遊び方の変化と対応。テーマ2：地域から見た子ども会活動の在り方と会員増加への方策。テーマ3：子供会の育成者、リーダーを育てるために。②安全啓発部会ではコロナ過での子ども会活動を考える③未来委員会などで活発な意見交換がなされました。

